

達第八號を以て達した<sup>各</sup>局(課)勤務を命  
せられたものと心得りたること。

ニ醫務局官制廢止による厚生省官制改  
正の際現に国立病院又は国立療養所の  
職員下列に許令を發せられたときは、従前  
の職を以て且つ勤務場所を、<sup>あらた</sup>變ることなく  
別に制定公布された厚生省官制による

国立病院又は国立療養所に勤務を  
命せられたものと心得りたること。

年一月五日

大臣



参考

◎ 嘱託の呼称

一、医療局嘱託

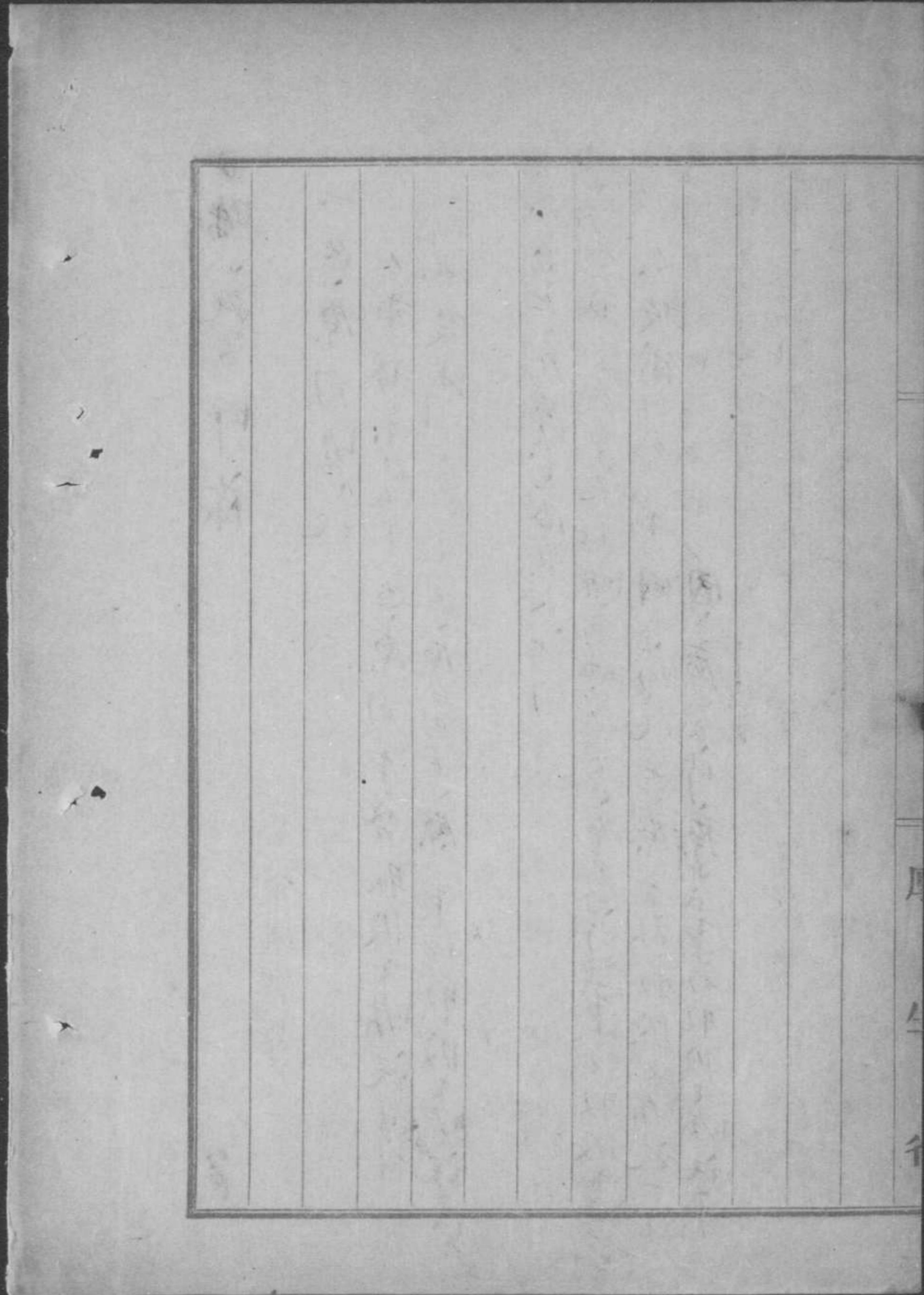
- 1. 事務系統 — 医療局事務取扱を嘱託す
- 2. 技術 — 医療局医療事務取扱を嘱託す

二、公立の病院、診療所及び

- 1. 事務系統 — 國之病院（又、診療所）事務取扱を嘱託す
- 2. 技術 — 國之病院、診療所事務取扱を嘱託す

1. 事務系統 — 医療局事務取扱を嘱託す  
 2. 技術 — 医療局医療事務取扱を嘱託す  
 3. 事務系統 — 國之病院（又、診療所）事務取扱を嘱託す  
 4. 技術 — 國之病院、診療所事務取扱を嘱託す







達第一〇號

公衆保健局  
醫務局  
豫防局  
國立病院  
國立療養所

一、醫療局官制廢止による厚生省官制改正の際、現に醫療局所屬の囑託員又は雇員で別に辭令を發せられないときは、從前の給料を以て厚生省囑託又は雇員を命ぜられ達第八號を以て達した各局(課)勤務を命ぜられたものと心得ること。  
二、醫療局官制廢止による厚生省官制改正の際、現に國立病院又は國立療養所の職員で別に辭令を發せ

られないときは、從前の職を以て、且つ勤務場所を變ることなくあらたに公布された厚生省官制による國立病院又は國立療養所に勤務を命ぜられたものと心得ること。

昭和二十一年十一月五日

厚生大臣 河合良成



告示

合議先番號受送月日		厚生省號欄	
第	第	第	第
號	號	號	號
送	送	送	送
月	月	月	月
日	日	日	日

起案	昭和廿一年十月
日	日
受局	付課
月	第
日	號
行施	上月十五日
月	日

大臣  
次官

局長秘書課長  
事務官

主査

同

國立瀨療養所官制廢止による國立療養所の名稱及び位置の告示、並びに国立療養所官制廢止に併し厚生省告示第百四十二号の件(不之療養所、病院の名稱、位置の件)を別表に依り告示する

仰い官裁

甲乙ノ種別

裏面白紙

165



めくれず

告示案ノ(一)

官報登載  
昭和二十一年十一月十八日

◎厚生省告示第八十二號  
昭和二十年十二月二十一日  
厚生省告示第四百四十二號(国立療養所の名稱及び位置の件)中、国立別府温泉療養所の項の次に、次のやうに加へ、昭和二十一年十一月四日から、これを適用する。  
昭和二十一年十一月四日

厚生大臣 河合良成

名稱 位置

- 国立療養所長島愛生園 岡山縣邑久郡雲掛村
- 国立療養所栗生樂泉園 群馬縣吾妻郡草津町
- 国立療養所星塚敬愛園 鹿兒島縣鹿屋市
- 国立療養所東北新生園 宮城縣登米郡新田村

軍事保護院

- 国立療養所多摩全生園 東京都北多摩郡奥村山町
- 国立療養所松丘保養園 青森縣東津輕郡新城村
- 国立療養所邑久光明園 岡山縣邑久郡雲掛村
- 国立療養所大島青松園 香川縣木田郡庵治村
- 国立療養所菊池惠楓園 熊本縣菊池郡合志村
- 国立療養所國頭愛樂園 沖縄縣國頭郡羽地村
- 国立療養所官古南靜園 沖縄縣官古郡平良町
- 国立療養所庵美和光園 鹿兒島縣大島郡三方村

(附註) 國定國史館第55号



裏面白紙

告示 案小ノ二

官報登載  
21年11月18日

◎厚生省告示才八十三號

(五五五務省の所の名稱及び位置の件)

昭和二十年十一月二十一日 厚生省告示第百四十二號 及び

(五五五務省の名稱及び位置の件)

第百四十三號 本文中「医療局官制才四

條」を「厚生省官制才二十四文小」に

改め、昭和二十一年十月五日からこの水を用する。

年 月 日

大臣 名



醫庶秘第五七六號

昭和二十一年十一月四日

療局次

厚生大臣官房秘書課長 殿



国立療養所  
国立療養所官制廢止(醫療局官制改正)に伴ひ国立療養所の  
名稱及び位置別紙の通り告示方取計ひ相成りた  
追つて本件は醫療局官制改正と同日附を以つて施行すること  
致したる

軍事保護院

(官製規格B5用)

168

裏面白紙



厚生省官制

昭一三、一、一 初七号  
改正昭三、一、一 初七号

第一條 厚生大臣ハ人口ノ殖養・國民ノ保健・社會事業其他  
國民生活ノ保護指導・勤勞及社會保險ニ関スル事務ヲ管理ス  
第一條 大臣官房ニ於テハ通則ニ據グルモノノ外左ノ事務ヲ掌

一 新管行政ノ綜合調整ニ関スル事項

二 所管行政ニ関スル調査及審議立案ノ一般ニ関スル事項

三 所管行政ノ考査一般ニ関スル事項

四 人口問題研究所ニ関スル事項

第三條 厚生省ニ左ノ七局ヲ置ク

公衆保健局

醫務局

豫防局

社會局

勤勞局

保険局

第四條 公衆保健局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國民ノ健康増進ニ関スル事項

二 榮養ニ関スル事項

三 飲食物ノ衛生及環境衛生ニ関スル事項

四 其ノ他人口ノ殖養及國民ノ保健ニ関スル事項ニシテ他ノ主

管ニ屬セザルモノ

第五條 醫務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 醫事及榮事ニ関スル事項



二 衛生資料ニ関スル事項

三 國ニ於テ醫務ヲ為スヲ要スル患者ノ醫務ニ関スル事項

第五條 一 豫防局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 疾病ノ豫防ニ関スル事項

二 水道、下水道及清掃衛生ニ関スル事項

第六條 社會局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 救護及治療ニ関スル事項

二 戰時災害保護ニ関スル事項

三 社會福利施設ニ関スル事項

四 其ノ他社會事業其ノ他國民生活ノ保護指導ニ関スル事項

第七條 勞務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 賃金、給料其ノ他勤勞ノ條件ニ関スル事項

二 勤勞能率ノ増進其ノ他勤勞管理ニ関スル事項

三 其ノ他勤勞ニ関スル事項ニシテ他ノ主管ニ屬セザルモノ

第七條 一 勤勞局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 勤勞ノ供給ニ関スル事項

二 復員等ニ伴フ職業対策ニ関スル事項

三 職業紹介ニ関スル事項

四 職業指導及職業訓練ニ関スル事項

第八條 保険局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 健康保険、國民健康保険及労働者災害扶助責任保険

ニ関スル事項

二 船員保険、厚生年金保険並ニ退職積立金及退職手當

ニ関スル事項

三 其ノ他社會保険ニ関スル事項

第九條 厚生省ニ勞務局參與十五人以内ヲ置キ勞務局ノ



局務ニ參與セシム

勞働尙多ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳一級ノ官吏及

學識経験アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識経験アル者ノ中ヨリ命セラレタル參與ノ任期ハ三年トス

但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ

妨ケズ

參與ハ一級官待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ヲ有

スル待遇ニ依ル

第十條 厚生省ニ左ノ職員ヲ置ク

厚生事務官

專任 五人 一級

專任 二百四十九人 二級

專任 八百五十四人 三級

厚生技官

專任 三人 一級

專任 千八百八人 二級 納付八十人ヲ得

專任 五百七人 三級

第十一條 前條ノ職員ノ外厚生大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳一

級又ハ二級ノ官吏ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得

第十一條ノニ 厚生省ニ病院調査官ヲ置キ二級ノ厚生技官ヲ以

テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ國民醫療法施行令ニ規定スル實

地修練ニ必要ナル施設ノ調査及指定ニ關スル事務並ニ實地

修練ノ指導監督ヲ掌ル

第十二條 厚生省ニ教護官ヲ置キ二級ノ厚生事務官又ハ厚生

技官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ少年教護ノ指導監督

ヲ掌ル



第十三條 削除  
 第十四條 削除  
 第十五條 削除  
 第十六條 削除  
 第十七條 削除  
 第十八條 削除  
 第十九條 厚生省ニ勞務官ヲ置キ學生事務官又ハ厚生技官ヲ以テ之ニ充ツ

勞務官ハ上官ノ命ヲ承テ工場法、賃金統制令、賃金臨時措置令(船員ニ関スルモノヲ除ク)、工場勞務者最低年齡法、退職積立金及退職手当法、勞務者災害扶助法及商店法ノ施行ニ関スル事務、鑛夫ニ関スル事務、鑛山ニ於ケル勤勞衛生ニ関スル事務、茲ニ勞働組合及労働爭議調停ニ関スル事務ヲ掌ル

第二十條 削除

第二十一條 厚生省ニ職業官ヲ置キ學生事務官ヲ以テ之ニ充ツ職業官ハ上官ノ命ヲ承テ職業紹介ノ連絡統制ニ関スル事務ヲ掌ル

第二十二條 厚生省ニ專門委員ヲ置キ專門ノ事項ヲ調査セシム

專門委員ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ學識経験アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

專門委員ノ任期ハニ年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之一ヲ解任ニルコトヲ妨グズ

第二十三條 厚生省ニ産業安全研究所ヲ置キ工場事業場ニ於ケル災害豫防、調査研究及工場事業場ニ於ケル災害豫防ニ関スル技術者ノ養成訓練ヲ掌ラシム

産業安全研究所ニ所長ヲ置クニ級ノ厚生技官ヲ以テ之ニ充ツ

第二十四條 厚生大臣ハ國ニ於テ醫療ヲ為スヲ要スル患者ノ醫療ニ



同スル事務ノ一部ヲ分掌セシムル為病院又ハ療養所ヲ設クルコトヲ得其ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム病院又ハ療養所ノ長ハ一級又ハ二級ノ厚生技官ヲ以テ之ニ充ツ

第三十五條 第五條ノ患者ノ範圍ニ関シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

裏面白紙





◎厚生省告示第八十二號

昭和二十年十二月 厚生省告示第四百四十二號（国立療養所の名稱及び位置の件）中国立別府温泉療養所の項の次に、次のやうに加へ、昭和二十一年十一月四日からこれを適用する。  
昭和二十一年十一月十八日

厚生大臣 河合 良成

名 稱 位 置

- 国立療養所長島愛生園 岡山縣邑久郡裳掛村
- 国立療養所栗生樂泉園 群馬縣吾妻郡草津町
- 国立療養所星塚敬愛園 鹿兒島縣鹿屋市
- 国立療養所東北新生園 宮城縣登米郡新田村
- 国立療養所多摩全生園 東京郡北多摩郡東村山町
- 国立療養所松丘保養園 青森縣東津輕郡新城村
- 国立療養所邑久光明園 岡山縣邑久郡裳掛村

- 国立療養所大島青松園 香川縣木田郡庵治村
- 国立療養所菊池惠楓園 熊本縣菊池郡合志村
- 国立療養所國頭愛樂園 沖縄縣國頭郡羽地村
- 国立療養所宮古南靜園 沖縄縣宮古郡平良町
- 国立療養所奄美和光園 鹿兒島縣大島郡三方村



WELFARE MINISTRY  
IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT

Welfare Ministry Notification No.

The following shall be added next to the Paragraph of  
the National Beppu Hot-spring Sanatorium in the Welfare  
Ministry Notification No. 142 of December 1945 (Matters  
pertaining to the names and locations of the National  
Sanatoria), and it shall be applied as from November 4, 1946.

1946

Kawai Yoshinari

The Minister of Welfare

裏  
面  
白  
紙



WELFARE MINISTRY  
IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT

Names Locations

National Sanatorium Nagashima Aisei En	Mokake-village Oku-gun Okayama-Pref.
National Sanatorium Karifu Rakusen En	Kusatsu-town Azuma-gun Gunma-prefecture
National Sanatorium Hoshizuka Keiai En	Kanoya-city Kagoshima-prefecture
National Sanatorium Tohoku Shinsei En	Nitta-village Tome-gun Miyagi-prefecture
National Sanatorium Tomo Zensei En	Higashimurayama-town Kitatama-gun Tokyo-to
National Sanatorium Matsuoka Hoyo En	Shinjo-village Higashitsugaru-gun Aomori-prefecture
National Sanatorium Oku Komyo En	Mokake-village Oku-gun Okayama-Pref.
National Sanatorium Oshima Seisho En	Aji-village Kita-gun Kagawa-prefecture
National Sanatorium Kikuchi Keifu En	Goshi-village Kikuchi-gun Kumamoto- prefecture
National Sanatorium Kunigami Airaku En	Haneji-village Kunigami-gun Okinawa- prefecture
National Sanatorium Miyako Nansei En	Hirao-town Miyako-gun Okinawa-prefecture
National Sanatorium Amami Wako En	Sanbo-village Oshima-gun Kagoshima-pref.

裏  
面  
白  
紙





◎厚生省告示第八十三號

昭和二十年十二月二十日 厚生省告示第四百四十二號（国立療養所の名稱及び位置の件）及び同第四百四十三號（国立病院の名稱及び位置の件）本文中「診療局官制第四條」を「厚生省官制第二十四條」に改め、昭和二十一年十一月五日からこれを適用する。

昭和二十一年十一月十八日

厚生大臣 河合 良成

裏面白紙

177



WELFARE MINISTRY  
IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT

Welfare Ministry Notification No.

"The Regulation governing The Organization of the Medical Bureau, Article 4" in the Welfare Ministry Notification No. 142 of December 1945 (Matters pertaining to the names and locations of the National Sanatoria) and the same No. 143 (Matters Pertaining to the names and locations of the National Sanatoria) shall read "The Regulations governing the Organization of the Welfare Ministry, Article 24", and it shall be applied as from November 5, 1946.

1946

Kawai Yoshinari

The Minister of Welfare

裏  
面  
白  
紙